KYOJO 開幕戦／5/9(土)・10(日)　富士スピードウェイ

スーパーフォーミュラの併催もあり！KYOJO CUP2026開幕！

決勝レースでは、ポールポジションからスタートした富下李央菜選手(#39)が一度もトップを譲ることなく独走。開幕戦を締めくくるにふさわしい完勝を飾った。2位にはジョアンヌ・チコンテ選手(#10)、3位にはレース中盤から力強く追い上げた斎藤愛未選手(#36)が入り、上位から中団まで随所で接近戦が繰り広げられる、圧巻の一戦となった。

スタート直後の第1 コーナーでは、上位陣が密集したままGRコーナーへ進入。富下選手がトップを守る一方で、後方では翁長実希選手(#7)、佐藤こころ選手(#38)、下野璃央選手(#86)、三浦愛選手(#18)らが激しいポジション争いを展開。印象的だったのは、KYOJO FORMULA導入2年目を迎えたシリーズ全体のレベルアップ。接近戦の中でも各ドライバーが冷静にラインを選び、ブレーキング勝負やスリップストリームを使った、クリーンでハイレベルな攻防を見せた。特に三浦選手は、序盤から積極的に順位を上げる走りを見せ、下野選手とのGRコーナーでのサイド・バイ・サイドの攻防は、観客の視線を集める大きな見どころとなった。また、斎藤選手はスタートで一度ポジションを落としながらも、レース中盤以降に力強く挽回。翁長選手との激しい3位争いの結果、見事に表彰台圏内へ浮上した。

また、後方では4ワイドに近い場面も見られ、KeePerがスポンサードする「KeePer KONDO RACING KC-MG01」のドライバー松井沙麗選手(#3)、ハナ・バートン選手(#37)、金本きれい選手(#32)らによる激しいポジション争いも展開。トップから中団まで複数のバトルが同時進行するレースとなり、観戦者にとっても最後まで目の離せない内容となった。15歳でKYOJO初レースの松井選手は、冷静な走りを見せるも遅れを取り、11位でフィニッシュ。しかし、レース関係者やレースファンから「初戦、しかも15歳で堂々とした走り！」」と大きな注目を浴びていた。

「2026 KYOJO CUP 開幕戦のFinal」は、カテゴリーの成長を感じさせる一戦となった。富下選手の圧倒的な走り、チコンテ選手の上位フィニッシュ、斎藤選手の追い上げ、そして中団で繰り広げられた接近戦は、KYOJO CUP が単なる女性限定レースではなく、競技として高い見応えを持つシリーズへ進化していることを示している。

国内外のドライバーが同じ舞台で競い合う構図は、KYOJO CUP が目指す国際化とも重なる。女性ドライバーの挑戦を可視化し、競技としての魅力、育成カテゴリーとしての意義、そしてモータースポーツの新しい価値を発信する場として、今後のさらなる発展が期待される。

【今後のスケジュール】

Rd.2	7/18(土)・19(日)
Rd.3	9/5(土)・6(日)
Rd.4	10/10(土)・11(日)
Rd.5	10/31(土)・11/1(日)

※会場はすべて富士スピードウェイです。

※Rd.2とRd.4は、スーパーフォーミュラとの併催です。

【チケット購入方法】

インターネットからのみの購入となります。右のQRコードから購入できます。

レース好きも、レース初心者も楽しめる!! KeePer が提供するテレビ番組

「RACING LABO SUPER GT+KYOJO」

毎週土曜日24時からテレ東系列で全国放送中!!

見逃しても大丈夫！
完全無料の公式テレビ配信サービス TVer で視聴できます！
（番組放送後から1週間）

TVer(ティーバー)とは、日本テレビ、テレビ朝日、TBS、テレビ東京、フジテレビなどの民放各局が共同で運営する、完全無料の公式テレビ配信サービスです。リアルタイムで見逃しても、アクセスするだけで番組放送後1週間、無料視聴できます。会員登録不要で、スマートフォン、タブレット、パソコン、テレビから番組を楽しめます。

また会員登録(無料)すれば、異なる端末でログインしても「お気に入り」や「あとでみる」のデータが自動で共有されたり、端末を切り替えても同じシーンから視聴を再開できたり、放送中の番組をリアルタイムで視聴している際、番組の途中からでも最初に戻って再生できる機能が利用可能になります。

こちらから「Tver」へアクセスできます！

広報・メディア情報

●テレビCM

RACING LABO SUPER GT＋KYOJO 90秒CMに関谷正徳氏と娘の桃子さん登場！

元ル・マン24時間レース総合優勝ドライバーとして世界で活躍し、現在は女性限定レース「KYOJO CUP」のプロデューサーである関谷正徳氏を起用した90秒CMを、公式YouTubeチャンネルにて公開しました。

関谷氏ご本人のトヨタ ミライと、娘さんがお乗りのMINI カントリーマン、計2台の施工の様子をご覧いただけます。ミライは約5年前の納車時にEXキーパーを施工しており、今回は再施工。MINI カントリーマンは納車間もない新車への施工となります。撮影内では、関谷氏より「キーパーをするとしないとでは、全くキレイさが違うからね。」と、キーパーコーティングへの高い信頼を感じられるコメントもいただきました。CMは「RACING LABO SUPER GT＋KYOJO」内でも放送予定です。ぜひご覧ください。

90秒CMはこちらからご覧いただけます！